

平成23年3月15日

この度「東北地方太平洋沖地震」におきまして、被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。被災地におかれましては、一日も早く普段の生活に戻れますよう、皆様のご無事を心よりお祈り申し上げます。また、今も懸命に救出と復旧に務められている方々、そして被災者のケアに奔走されている医療従事者の皆様、本当にご苦労様でございます。

目下の優先課題である救命や外科処置の後には、慢性疾患の増悪、そして感染症対策など内科疾患のニーズが増えることが予想されます。特に、被災のストレスによる体調不良などメンタルヘルス面におけるサポートの必要性は急を要するものでございます。また、これから長い時間にわたって出てくるであろう、様々な被災地での医療上の課題についても、医療従事者のみならず国全体で取り組まねばならないものと思われま

当研究会におきましても、うつ病など気分障害を中心とした精神疾患を原因として休職している方々に対する復職に向けたリハビリテーションの場として、必要とされる方に十分に対応できるよう会員間で情報交換などの連携を図りながら支援をしていきたいと考えております。

うつ病リワーク研究会
代表世話人 五十嵐良雄